

予 算 要 求 資 料

令和4年度12月補正予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：感染症予防費

事業名 新型コロナワクチン接種医療従事者確保事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部感染症対策推進課
ワクチン接種対策室総務係

電話番号：058-272-1111(内2762)

E-mail：c11237@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 46,358 千円 (現計予算額： 293,944 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	293,944	293,944	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	46,358	46,358	0	0	0	0	0	0	0
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

過去2年間、年末年始において新型コロナウイルス感染症が拡大していることを受け、国においては新型オミクロン株対応ワクチンを導入するとともに、ワクチン接種の実施期限を令和4年9月末から令和5年3月末へと延長された。

また、あわせて対象者全員が年末までに接種を受けられるよう、接種体制を確保する方針が示された。

本件においても、こうした国の方針に基づき、年末までに希望する全ての県民にワクチン接種を進めていくが、そのためには、ワクチン接種に不可欠な医療従事者の確保が必要である。

そのため、時間外・休日に集団接種会場及び大規模接種会場へ医師・看護師等を派遣する派遣元医療機関を支援することにより、医療従事者の確保を促進する。

(2) 事業内容

時間外・休日の医療機関から、集団接種会場に医師・看護師等を派遣した派遣元医療機関に対し支援を行う市町村及び、大規模接種会場に医師・看護師等を派遣した派遣元医療機関を県として支援する。

(3) 県負担・補助率の考え方

国10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	46,358	市町村事業への補助、医療機関への補助
合計	46,358	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・新型コロナウイルス感染症「緊急事態」総合対策
- ・「ウィズ・コロナ」総合対策
- ・岐阜県BA.5対策強化宣言

(2) 事業主体及びその妥当性

市町村の予防接種及び大規模接種会場に医師・看護師等を派遣する医療機関を強力に支援していくことは妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

オミクロン株対応ワクチン等を、全ての希望者へ接種するために必要な医療従事者を確保する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

新型コロナウイルスワクチンの接種は、県民一人ひとりの意思に基づいて判断されるものであり、指標化はそぐわない。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 2	ワクチン接種に係る医療従事者の確保は喫緊の課題であり、県が市町村及び医療機関を支援することで、安定した医療従事者の確保ができるため本事業の必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 なし

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 今後の国の動向を踏まえ、判断する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】